

こまぼんのなるほど！ みなと講座

～港湾・空港のことをもっと知っていただくために～



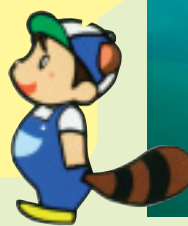
ぼくの名前は「こまぼん」。小松島港湾・空港整備事務所のマスコットキャラクターだよ。タヌキの耳としっぽが目印。一般公募によって名前がつけられたんだ。

第18回 徳島飛行場

徳島飛行場は、徳島市の北約10kmの板野郡松茂町に位置し、全国的にも数少ない海上自衛隊と民間航空との共用飛行場です。今回は、徳島飛行場の概要について紹介します。

● 空港整備の経緯

- 昭和32年 防衛庁が現在の松茂町に建設
- 昭和33年 海上自衛隊徳島航空隊基地として使用開始
- 昭和37年 共用飛行場となる(現在も海上自衛隊の訓練用飛行場と兼用している。)
- 昭和38年 大阪と結ぶ定期便が就航
- 昭和56年 ジェット化に向けた拡張事業に着手(1500m→2000m)
- 昭和62年 2000m滑走路が供用
- 平成元年 新ターミナルビルがオープン
- 平成4年 北側平行誘導路の整備が完成
- 平成13年 拡張整備事業(2000m→2500m)現地着手
- 平成22年 2500m滑走路 供用予定



● 滑走路延長工事について

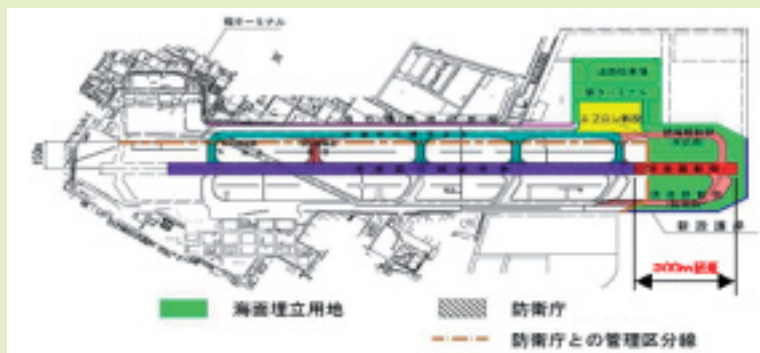
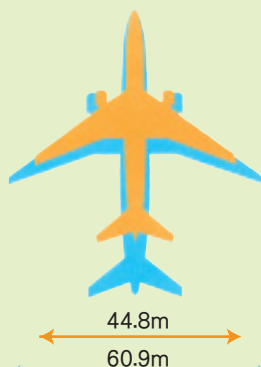
徳島飛行場では、平成9年度より、滑走路を2000mから2500mに延長する拡張整備事業を実施しています。東京路線の旅客需要への対応や、新規路線の開設および国際チャーター便の推進等、将来予想される航空需要に対処するため、大型ジェット機の就航を可能とするための事業です。

当事業により、強い横風等、悪天候時におけるオーバーラン等のリスクが軽減され、離発着時の安全性が向上することや、荒天時の引き返しおよび欠航等の減少が見込まれるといった利点、さらには、ターミナルが海側へ移転することで騒音も緩和されることとなります。

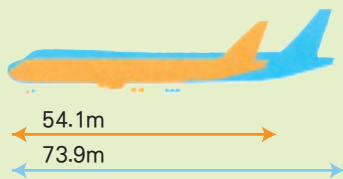
今回の徳島飛行場の滑走路延長によって、四国内の空港は全て滑走路が2500mとなります。

【平面図】

- A300-600R
(現在就航中の航空機)
- B777-300
(将来就航可能な航空機例)



【側面図】



最近の民間航空機の種類と旅客利用実績 (平成21年9月現在)

路線	航空会社	便数	機種	定員(人)	旅客利用実績(CABより提供)		
					平成19年	平成20年	対前年比
東京	日本航空(JAL)	2	MD90	166	786千人	752千人	95.7
		10	A300	292			
福岡 名古屋	日本エアコミューター(JAC) 全日空(ANA)	4	SF34	36	39千人	37千人	94.9
		2	Q400	74			
札幌	日本航空(JAL)	週8	MD81	163	7千人	8千人	110.6
合計					868千人	829千人	95.5

機種	標準座席数(人)	全幅(m)	全長(m)	最大離陸重量(t)	運行速度(km/h)
B777-300	470	60.9	73.9	237.0	905
A300-600R	292	44.8	54.1	144.0	848

札幌便は季節運行